

令和3年度クリーニング師試験 技能筆記試験問題

洗濯物の処理に関する知識

係員の指示があるまで開いてはいけません

(注意事項)

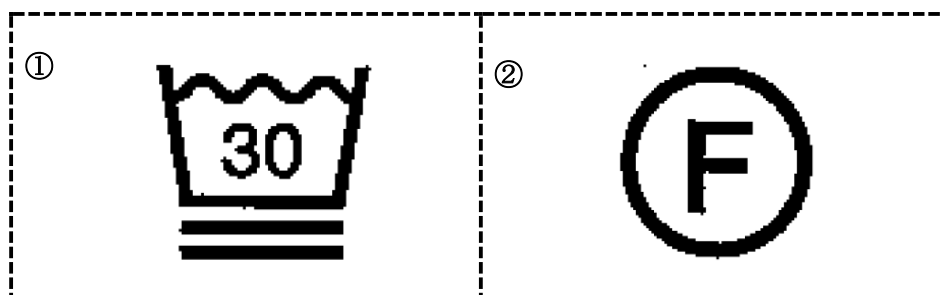
- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は10分間とする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、必ず机上の見やすい場所に、表側を上にして置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認したうえ、試験官の指示に従い退室すること。

福 島 県

洗濯物の処理に関する技能筆記試験

受験 番号		氏名	
----------	--	----	--

問 1 次の図は、日本産業規格（J I S L0001）で定める表示記号を示したものです。それぞれの表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。



[選択肢]

- 1 ウェットクリーニング処理ができない。
- 2 液温は、30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。
- 3 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
- 4 石油系溶剤（蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～）でのドライクリーニング処理ができる。（通常の処理）
- 5 液温は、30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
- 6 ドライクリーニング処理ができない。
- 7 液温は、30℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
- 8 パークロロエチレン及び石油系溶剤（蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～）でのドライクリーニング処理ができる。（通常の処理）

解答欄	① 2	② 4
-----	---	---

問 2 次の繊維と使用できる漂白剤との組み合わせとして、不適当なものの一つを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- | | | | |
|---|------|---|------------|
| 1 | レーヨン | — | 次亜塩素酸ナトリウム |
| 2 | 絹 | — | ヒドロサルファイト |
| 3 | ナイロン | — | 過酸化水素 |
| 4 | ビニロン | — | 亜塩素酸ナトリウム |

解 答 欄
3

問 3 次のシミ抜きに関する文章について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 サビ取り剤は、水溶性シミ抜き剤の中でも最も酸性の強い、pH 値の非常に低いシミ抜き剤であり、代表的なものとしてフッ化水素と（ ア ）などがある。
- 2 水溶性のシミはたんぱく系とタンニン系の2つに分類され、タンニン系のシミには（ イ ）のシミ抜き剤を使用する。

- [語 群] (ア) ①モノクロロベンゼン、②シュウ酸、③アンモニア水
 (イ) ①中性、②酸性、③アルカリ性

解 答 欄	(ア) ②	(イ) ②
-------------	--------------	--------------

問 4 あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を次の解答欄に記入しなさい。

解 答 欄	ナイロン	綿	絹	ポリエステル	毛
	2	5	3	4	1